（様式2）

3. 事後評価の実施

（1） 実施時期

令和7年5月に教育委員会事務局で事後評価を実施した。

（2） 評価の方法

計画期間終了後に、施設管理者等に聞き取りを行う等して、各施設の目標の達成状況を確認した。
なお、評価結果は、当町のホームページにより公表する。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は達成された。
飯野小学校では、老朽化した和式トイレを洋式へ改修し、肢体不自由児童等が利用できる多目的トイレを新設した。これにより、教育環境の質的向上が図られた。また、木山中学校では、教室不足の解消を目的として、既存のコンピュータ室を改修し、特別支援教室として活用できる環境を整備した。

5. 各目標の達成状況

（1） 老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】　目標を達成した ／ 達成できなかった

【所見】

該当する計画なし

（2） 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

【目標の達成状況】　　目標を達成した ／ 達成できなかった

【所見】

該当する計画なし

（3） 教室不足の解消等を図る整備

【目標の達成状況】　目標を達成した ／ 達成できなかった

【所見】

木山中学校では、既存のコンピュータ室を特別支援教室へと改修し、支援が必要な児童のための環境整備を実施した。

（4） 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】　目標を達成した ／ 達成できなかった

【所見】

飯野小学校の屋内運動場に多機能トイレを設置し、バリアフリー化を促進して、より幅広い児童が快適に利用できる環境を整えた。

（5） 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】　　目標を達成した ／ 達成できなかった

【所見】

該当する計画なし

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

該当する計画なし

（様式3）

7．事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	（実施しなかった場合） 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 （改築事業は、旧施設のとりこわし時期を明記）
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間（契約～完成）			
飯野小学校	（4）	07	大規模改造（バリアフリー）	屋	－	R6.7～R7.3	R7.3.31		
木山中学校	（3）	07	大規模改造（バリアフリー）	校	－	R6.7～R6.11	R6.11.29		